

【指導計画】

科目名	選択講座「コンピュータ」	
項目名	情報社会における著作権の意義と必要性を理解する	
目標	著作権の意義と必要性を身近な事例で理解する	
指導計画	第1時限 ～第2時限	著作権の歴史、情報のデジタル化による安易な複製の実態、複製権の乱用と著作権の保護について理解する。
	第3時限 ～第4時限	「人からされたら嫌だと思う」という観点で身近に起こりうる著作権侵害に注目し、「著作権クイズ」を作ること で理解を深める。
留意点	著作権を一方的に説明するだけではなく、身近な例を基にクイズを作る ことで、著作権を自らの問題として考えられるようにする。	

【指導案】

1. 科目名

選択講座「コンピュータ」

2. 本時の目標

身近な事例で「著作権クイズ」を作成し、それをクラス全員に出題することで著作権に関する議論に全員を参加させる。また、問題には解答だけでなく解説も用意させることで、著作権の仕組みについても理解させる。

3. 本時の評価

各自の作った問題を全員が解答し、その正誤により著作権の理解を自己評価する。

4．第3時限および第4時限の指導過程

過程	学習内容	教師の活動	生徒の活動	留意点	時間
導入	作業の内容を確認し、その目的を理解する。	作業内容の説明と、クイズの採点方法の説明を行う。	コンピュータにログインしてインターネットによる情報収集の準備を行う。	採点は自己申告で行うことを指示する。	5分
展開	著作権についての復習。	著作権の概要をプレゼンテーションする。 "著作権のまとめ.ppt"参照	随時指示されたURLにアクセスしながら著作権の概要を理解する。	問題作成につながるようなヒントを随時提示する。	20分
	著作権に関する情報の収集。	机間巡視して随時アドバイスを行う。	インターネット、テキスト、その他を利用して、クイズに関連しそうな話題を収集する。		20分
	(休憩) 問題の作成。	机間巡視して随時アドバイスを行う。	著作権に関する、問題、正解、解説を作成する。結果は担当者に提出する。	既存の問題を参考にした場合は、その情報源を明記させる。	10分 20分
	問題の集約。	提出された問題をプレゼンテーションソフト等でまとめる。	担当者に問題を提出する(本時の授業では電子メールを使用)。		5分
	クイズの実施、採点、解説。	集約した問題を一斉提示し、一問ずつ解答させながら解説を行う。 "著作権クイズ.ppt"参照	提示された問題の解答を解答用紙に解答し、正解の提示を受けて自己採点する。	事前に解答用紙を配布する。必要に応じて解答に対する異論を受け付け、随時議論を行う。	15分
まとめ	著作権は、単に法律として守るだけでなく、社会生活のルールとしてとらえ、実面的な場面で判断することが大切であることを理解する。			著作権に関係した問題には、簡単に結論が出ないものもあることをコメントする。	5分